

従業員向け

## 放課後等デイサービス評価表

○ 本評価表は、放課後等デイサービスに従事する従業員の方に、事業所の自己評価していただくものです。

「はい」又は「いいえ」のどちらかに○を記入するとともに、従業員の視点で、「事業所が工夫していると思う点」や「改善が必要だと思われる点」などについて記入してください。

	チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100.0%	0.0%	メインで活動する場所、個別で活動できる場所もありスペースは確保できている。
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	100.0%	0.0%	利用状況によってはゆとりがない時があるので、基本4人体制で支援できるように調整を行う。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	100.0%	0.0%	バリアフリーの構造で、バギーユーザーを含め安全に配慮している。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100.0%	0.0%	利用後の清掃や消毒を徹底している。活動等に応じて家具の配置換えを実施している。
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100.0%	0.0%	個々の状況に応じて、個室の使用を行っている。
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	100.0%	0.0%	毎日の打ち合わせや会議等を通し、情報や対応の共有を実施している。
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100.0%	0.0%	アンケート実施後に全体会議を行い、検証作業や対応協議を行っている。
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100.0%	0.0%	打ち合わせや会議、定期的に職員と面談を実施し、業務改善に努めている。
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	100.0%	0.0%	第三者評価は導入していないが、外部有識者を交えたケース検討を実施し、関わりの検証を行い、改善に努めている。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100.0%	0.0%	法人の全体研修、事業所としての研修の機会が多く確保されている。
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100.0%	0.0%	全職員でプログラムの検討を行い、公表をしている。
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	100.0%	0.0%	様式の改善を行い、5領域を基本としたアセスメントを行った。より良くするための改善を継続する。
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100.0%	0.0%	策定会議を実施し、全職員で検討を実施している。共通認識を深め、より良くしていくための方法を今後も検討していく。
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100.0%	0.0%	計画は共有されているが、より意識を持って支援できるように、打ち合わせ等で確認する。
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	100.0%	0.0%	標準化されたツールはあるが、周知や使い方が不十分なところがあるため、会議で改めて検討し、アセスメントの強化を行う。
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100.0%	0.0%	個別支援計画には設定されているが、抽象的な表現もあることから、より具体的な内容を設定し、職員間で共有する。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など
適切な支援の提供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100.0%	0.0%	その日の子ども達に適したプログラムをチームで検討し、実施している。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100.0%	0.0%	様々な活動を経験できるように工夫をしている。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	100.0%	0.0%	適宜組み合わせ活動の提供を行っているが、不十分なところもあるので、改善を図る。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100.0%	0.0%	日々打合せを行っているが、状況によってはより細かな確認が必要な時があるので、連携を強化していく。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100.0%	0.0%	支援終了後は打ち合わせとは称していないが、記録の記入時間等を活用し、共有を行っている。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100.0%	0.0%	記録は徹底されており、検証や改善に活かされている。
	23	定期的モニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100.0%	0.0%	毎月の会議で状況の確認を実施しているが、必要に応じて計画の見直し等を柔軟に行っていく。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	100.0%	0.0%	4つの基本活動を取り入れるために創意工夫を実施している。今後も工夫を継続する。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	100.0%	0.0%	子ども達が主体的に活動できるように工夫はしているが、さらに工夫をしていきたい。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100.0%	0.0%	児童発達支援管理責任者を中心に面談時の同席を行うなど連携を図っている。今後も連携を強化していく。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100.0%	0.0%	ケースに応じて対応をしており、体制は整えている。今後も連携をしていく。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	100.0%	0.0%	学校との情報共有はされており、今後も連携を図っていく。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	100.0%	0.0%	ケースに応じて対応をしており、事前の見学や情報交換の場を設けている。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	100.0%	0.0%	ケースに応じ対応をしており、必要に応じて提供している。今後も必要に応じて提供を行う。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	100.0%	0.0%	児童発達支援センターが地域に未設置であるが、事業所として外部講師の招聘などの機会を設けている。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	40.0%	60.0%	地域の子どもたちと活動する機会は少ない現状であることから、必要性を含め今後交流の在り方を模索する。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	100.0%	0.0%	協議会に子どもに関する部会はないため委員の委嘱はないが、その他関係会議には積極的に参加している。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100.0%	0.0%	連絡ノートを活用、面談等を通し共有を図っている。今後もより共通理解を深めていけるようにする。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	100.0%	0.0%	研修会（座談会）の開催を実施した。今後も継続して行うと共に、参加しやすい工夫をしていきたい。

	チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など	
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100.0%	0.0%	契約時の説明、報酬改定時に説明会を実施し、丁寧な説明に努めている。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100.0%	0.0%	家庭訪問等の面談の機会で意向を確認している。子ども達の意向の確認については今後工夫をしている。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	100.0%	0.0%	計画作成時に面談を実施し、同意に努めている。今後も丁寧な説明と同意に努める。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100.0%	0.0%	状況に応じて、相談を受けており、今後も相談しやすい雰囲気づくりをし、一緒に考えていきたい。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	100.0%	0.0%	年間で参加型のイベントを計画し、実施している。今後も継続する。イベント等を通して交流の機会を提供しているが、別の形で交流の機会を今後模索していく。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100.0%	0.0%	要望や苦情に対しては迅速に丁寧な対応を心がけている。今後も継続する。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	100.0%	0.0%	毎月の通信を通して情報発信を行っている。今後はICTの活用を含め、通信以外のさらなる発信に努めていく。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100.0%	0.0%	個人情報の取り扱いには十分注意を払っており、今後も継続して注意を払う。
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100.0%	0.0%	保護者に伝える内容に齟齬が起きないように、伝え方を含め工夫をしている。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	60.0%	40.0%	地域住民を招待する必要性について検討すると共に、どのように地域との関わり持っていくのかを検討する。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100.0%	0.0%	マニュアルの整備や訓練は実施しているが、周知の仕方に課題があることから、周知の方法を検討する。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100.0%	0.0%	BCPは毎年確認と見直しを実施している。今後も訓練を含め継続して行う。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	100.0%	0.0%	状況確認は徹底して行っている。今後も継続して行う。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100.0%	0.0%	現在医師の指示のあるケースは無いが、状況に応じて指示を仰ぐ。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100.0%	0.0%	安全計画を基に対応しているが、不十分な部分もあるので、計画や安全管理を随時検討し、見直しを図る。
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	100.0%	0.0%	安全計画に基づき取り組んでいるが、周知が不十分なところがあるため、周知方法を検討する。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100.0%	0.0%	日々打合せで検討を実施している。今後も継続し、強化をする。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100.0%	0.0%	毎月の委員会の中で確認がされ、定期的に研修を行っている。今後も権利擁護に努める。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	100.0%	0.0%	身体拘束について職員間で要件の確認を行うと共に、支援計画に記載し保護者への説明を行っている。今後も継続し、適正化を図る。	